

蕁麻疹とその原因

アレルギー体質の方にはなじみの蕁麻疹ですが慢性と急性がみられます。蚊に食われたようにまるく腫れたり融合して地図のようになっていたり、様々な形があります。一か所には30分から2時間くらいで腫れが引き赤みが残ります。また違う場所に出てきます。半数以上が原因不明といわれますが、それもそのはずで、原因が一つとは限らないからです。

更年期すぎから時々蕁麻疹が出て、ひどくなると仕事にも行けないという女性、ベースには、女性ホルモンの分泌低下、ビオチン不足と食物アレルギーがありました。睡眠不足や精神的ストレスもほとんど無く、アレルゲンの負荷も少ないときは、一つも蕁麻疹は出ないのですが、それらの条件が崩れてくると、全身に噴き出すようになってきます。

食物アレルギーは経口免疫療法を行って安全に食べられるようにすることはできますが、対策が困難なものもあります。この方の場合は食物に残留している有機リン系、ネオニコチノイド系、ピレスロイド系の各殺虫剤、除草剤なども大きな原因で、輸入食材などから多くを摂取していました。また、住居近くの樹木への農薬散布も原因の一つと考えられました。

中学3年の男子、蕁麻疹があちらこちらによく出ます。いろいろ調べた結果、スターリンクトウモロコシと放射性セシウムアレルギーが原因と判明。これはどちらも見分けることが非常に困難です。

すでに廃止されたにもかかわらず自然界に入り込んでいる遺伝子組み換えトウモロコシは、デンプン、ブドウ糖、油となり、加工品に入ってくれば、ある時はセーフ、ある時はアウトとなるのですから、対策はとても大変です。

放射性セシウムは、みなさんの関心もあり、測定もできますので、何とか取り込まないようにすることができます。汚染されているものを除染する方法も、わかってきましたので、わりに簡単に対策を講じることができます。が、放射性セシウムが原因だと気づくのが、非常に困難なのです。この場合、もう少し詳しくいえば、セシウムという単なる金属アレルギーなのか、 γ 線、 β 線を出すセシウム金属だからこそ体がアレルギー反応を起こしているのか、どちらかわかりません。放射性セシウムで汚染された物質は検査用試料として持っていますが、単なる金属のセシウムは探しているのですが今のところ入手できていません。どちらにしても今のところ対策は同じです。

その他、彼の場合はベースに学校や受験のストレスがあるのかもわかりません。心理的な問題は思いのほか大きな原因となることがあります。治りにくいときは、考慮しなければなりません。

また、蕁麻疹から引っ掻き続け、湿疹化してしまう場合もあります。ピーナッツで蕁麻疹が出ていた幼児ですが、慢性の湿疹になり治りにくくなっています。何度調べてもピーナッツの反応が皮膚に出ているのです。あらゆるものを調べて、母親の化粧品にピーナッツオイルが使われていることが分かりました。それをやめると、ほどなく良くなりました。他に、ピーナッツチョコをたくさん食べた豚を食べている間、ピーナッツによる湿疹が出ていた幼児もいました。

環境汚染、遺伝子組み換え食品、放射能汚染、食物、食品の不自然な作られ方など、蕁麻疹の出る方が多くなるのも、原因が分かりにくくなるのも、もっともなことだと思います。私たちの社会は、健康に生きていきたいという願いを足元から掘り崩していく、圧倒的な科学技術、経済活動に対し余りにも、洞察力が足りず、批判する力が弱すぎるのではないのでしょうか。